

研修6日目。語学学校で受ける最後の授業となりました。いつものように文法のクラス、会話のクラスを受けましたが、学校に来た当初と明らかに表情が異なっています。最初は自分から留学生に話しかけられず、何となくクラスに参加していた生徒さん達も、今では授業中に彼らと笑いながら会話を楽しむようになりました。クラスによっては高女生だけのクロードクラスも編成されましたが、自分達の置かれた状況を最善のものにしようと工夫したようです。しおりには、「クラスの中では全て英語で会話をします!」と書いていた生徒さんもいました。また、後悔しないように全力で参加するために「先生が質問をしたら、いつも一番に手を挙げるようにします。」と書いていた方もいました。5日間の授業は決して長い時間ではありませんが、英語に対する考え方や英語を使ってコミュニケーションを取ることに挑戦する気づきの時間となったようです。授業終了後、修了証書授与式となりました。ディレクターのグウェンが一人ひとり名前を読み上げ、修了証を渡していきます。受け取る生徒さん達の手には、なんとクッキーが!お菓子を頬張りながら受け取る修了証です。日本では考えられないことかもしれませんが、生徒さん達はこのアメリカ式の授与式(ちょっとしたパーティーを兼ねています)をととても楽しんでいました。

終了証書授与式の後、ボストンでお会いする最後のゲストである鎌田氏にお会いしました。鎌田氏はハーバード大学医学大学院で公衆衛生学を研究されている博士研究員です。東京大学をご卒業後、市役所で健康増進についてのプロジェクトに携わり、島根大学の医学部で博士号を取られました。医学部のご出身ではありますが臨床医ではなく、予防医学のドクターでいらっしゃいます。本日は、「運動不足を世界からなくす」をテーマにお話しをして頂きました。「運動は好きですか?」という問いかけから始まり、「どうして運動不足がなくなるのか」というテーマの理由と解決策をグループで考えました。ここでは短時間で効果的なプレゼンテーションを行うことが求められました。

“取りに来ると1ドル安くなるドミノピザを参考に、歩いてくると安くなるシステムを組み込んだアプリ”

“犬好きな人をターゲットにした、好きな犬種と一緒に散歩できるレンタルドッグ”など、面白いアイデアが飛び交います。鎌田氏は、このプレゼンを通して、自分の頭で考えて人に筋道立てて説明してみることの重要性を説明されました。また、「やりたいこと」「やるべきこと」「できること」を考えて将来の進路を選ぶこと、やるべきことも大事だが自分の好きなことややりたいことをやってみるとよいと仰っていました。このレクチャー中、会場からは何度も大きな笑い声が響いていました。鎌田氏が問う質問に対して、生徒さんは手元のスマートフォンを使って回答をします。打ち込んだ文字がその場でスライドに映し出され、文字の大きさや位置が刻々と変化するのです。楽しい答え、考えさせられるような答え、様々な文字が目の前で形を変えていきます。プレゼンの為のこうしたツールも勉

強になりました。(Pollev.com から誰でも入手することができるツールです) 鎌田氏の気さくでユーモアあふれる話し方で、生徒さんがリラックスして参加することが出来たようです。

この研修も終盤にさしかかっています。ボストンでの研修は残すところ、明日の班別自由行動のみとなりました。生徒さんは数日前から班長を中心に、自由行動の行程表を練り直しています。今ではボストンの街中を自分達の足で回れるようになりました。行ってみたい所、効率的な回り方を、今の視点で新たに考えています。以上が本日のご報告です。

一緒に学んだ語学学校の留学生



楽しい修了書授与式



鎌田先生のレクチャー

